

柏原市子育て支援プログラム

学科・専攻
教育学科
担当教員
香田健治、太田颯子、木村将夫

連携先

柏原市福祉こども部子育て支援課
柏原つどいの広場ほっとステーション

プログラム内容

本学科の学生が、柏原つどいの広場ほっとステーション(地域子育て支援拠点事業)に、見守りボランティアとして参加させていただきます。それにより、地域の乳幼児や親子とコミュニケーションを図ることができ、将来、保育士・幼稚園教諭資格取得を目指す学生が、乳幼児に接するための認識・経験・実践を深めることや、家庭への子育て支援のあり方についての理解を深めることを目的としております。

成果・考察

2024年10月16日水曜日に、柏原市ほっとステーションに伺いました。当日は、多くの子育て中のお母さんだけでなく、お父さんやおばあさんやおじいさんも来られていました。学生は、子育て支援での活動に実際に参加することにより、主に1歳から3歳までの子どもとのかかわりや、その子どもを育てる保護者の思いに触れることができました。おもちゃや遊具のあるフロアで楽しく遊ぶ子もいれば、慣れない場所で引っ込み思案になる子や、走り回ってしまってお母さんが心配している子など、様々な親子の様子がありました。そしてその近くには施設長の先生や、スタッフの先生方が、あたたかく保護者に寄り添ってお話をしながら、また子どもたちとかかわる様子を見て、学ぶことができる貴重な機会をいただきました。

さらに、このような地域とのかかわりにより、本学の保育士養成課程や教員養成課程についても知っていたくことになれば幸いです。



教育学科
木村 将夫 講師

学生が、実際の子育て支援事業の中に参加させていただき、体験的に学ばせていただく機会はとても貴重です。保育士養成課程の学生が参加する保育実習・教育実習では、子どもたちへの保育に関わる学びが多くの部分を占めます。そのため、今回のボランティア体験のような保護者の方と接する機会や、事業を運営する保育士の先生方の実際の支援の様子を見せていただくほぼ初めての機会になります。

そのため、柏原市子育て支援課のご協力により、このような保育実習・教育実習とは異なる側面での支援現場で体験的な学びを得ることは、今後の保育士や幼稚園教諭資格取得を目指す学生が子育て支援を学び、柏原市との連携を深め、さらには地域社会とのつながりが深まる機会になればと考えております。今後もこの取り組みがますます充実するように努力したいと思っております。関係する担当課や先生方にご協力をいただき、誠にありがとうございました。



教育学科
西野さん・南さん

保護者の方と関わることがあまりないので、最初どうやって話しかけるべきか迷っていましたが、子どもと一緒に遊びながら、子どものことについて質問すると、色んなことを話してくださるようになりました。自分の方から話しかけて、話しやすい雰囲気を作って、聞く姿勢が大切であると感じました。

子どもたちだけでなく、保護者の方同士で交流することによって、子育てに関することはもちろん、その他の話もできてリフレッシュすることにも繋がると感じました。行事にも参加することができ、新たな子どもたちの姿も見られるようになることも学ぶことができました。